



みらいを、掘り起こせ

奈義町

岡山県 奈義町 少子化対策

～町全体での子育て～



中国山地のど真ん中 過疎の町



地形 / 文化 / 芸術

中国山地の秀峰

国定公園
那岐山



奈義町ならではの旬の食材が味わえる

那岐山麓
山の駅



樹齢900年を超える
国の天然記念物

大銀杏



江戸時代から
継承される
県無形民俗文化財

横仙
歌舞伎



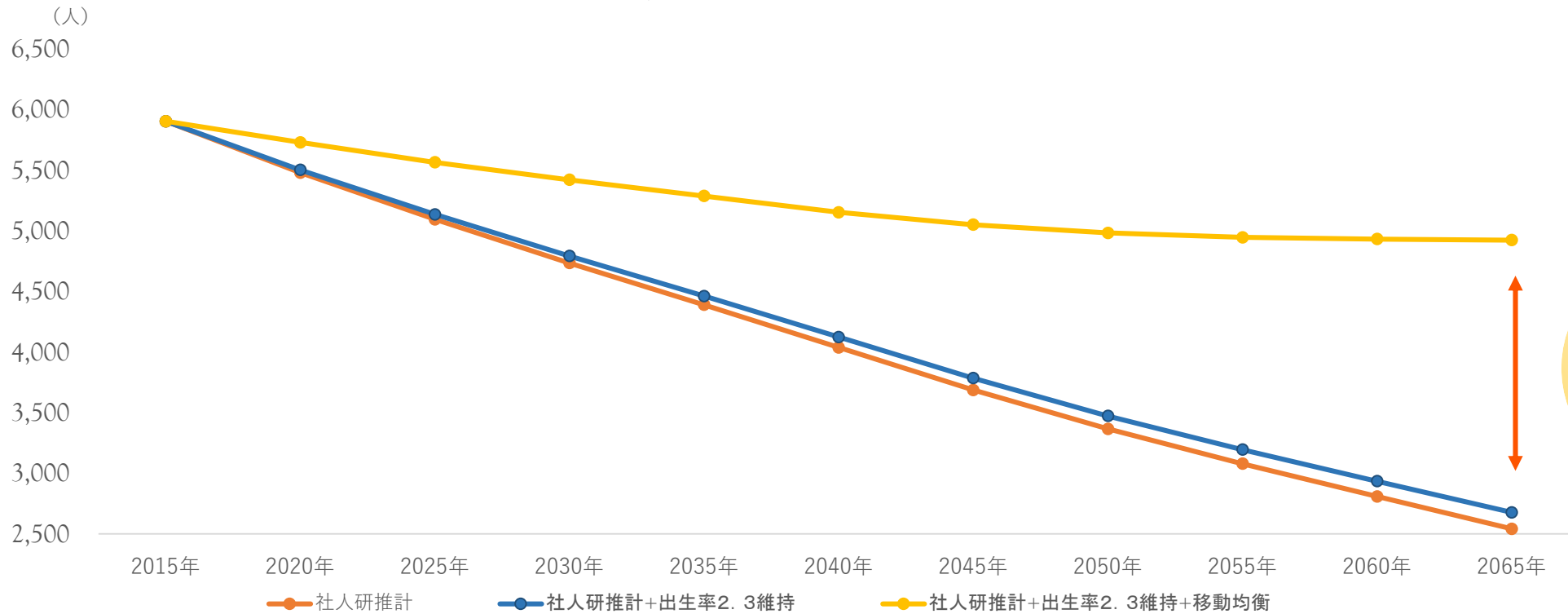
故 磯崎新氏
プロデュース

奈義町
現代美術館



町の現状：人口推移シュミレーション

人口推移シュミレーション



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
社人研推計	5,906	5,482	5,096	4,735	4,391	4,039	3,688	3,367	3,079	2,809	2,542
社人研推計 + 出生率2.3維持	5,906	5,504	5,137	4,793	4,463	4,125	3,786	3,474	3,196	2,935	2,678
社人研推計 + 出生率2.3維持 + 移動均衡	5,906	5,731	5,567	5,422	5,289	5,154	5,052	4,984	4,947	4,933	4,925



町の現状：子育て応援宣言の結果

高い合計特殊出生率の達成

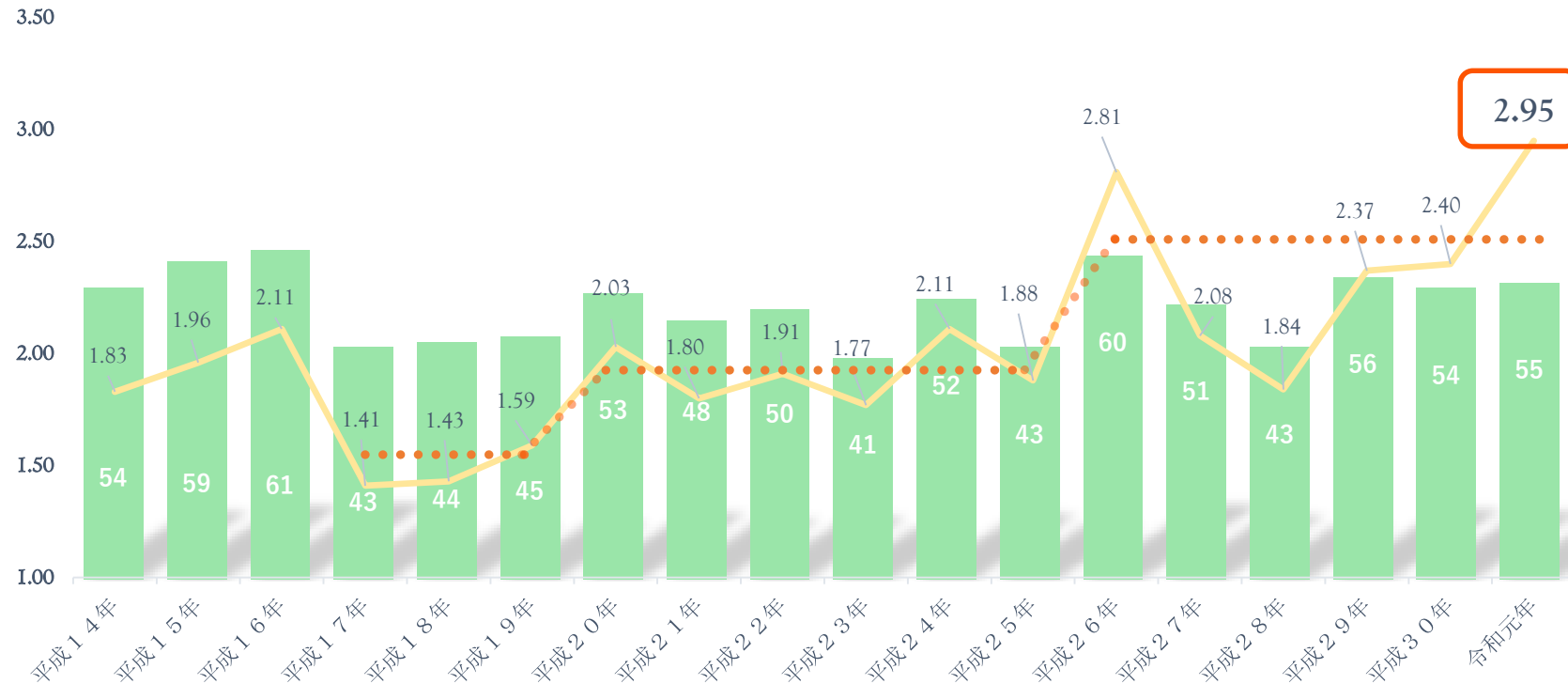
若者定住施策

就労対策

独自の子育て支援策

を積極的に進めてきた結果・・・

令和元年：合計特殊出生率「2.95」を記録



出生率は、
階段状に上昇

※町速報値
令和2年 2.25
令和3年 2.68



奈義町の存続のため「人口減少」は最大の課題

課題 : 人口減少・少子高齢化



対策 : 定住促進のための

- ・ 子育て支援施策（産み育てる環境）
- ・ 住宅施策（住む環境）
- ・ 魅力ある教育
- ・ 就労の場の確保施策（働く環境）



目標 : **現在の人口を維持すること**

	人口	高齢者率
2020年	5,578人	35.5%

対策が必要

2060年	2,809人 ↓ 変える	43.5% ↓ 変える
-------	--------------------	-------------------



子育て応援宣言の発表

奈義町子育て応援宣言

子ども達は次代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えてこられたお年寄りとともに、奈義町の大切な宝物です。

その子ども達が夢と希望を持ち健やかに育つことは、奈義町の未来であり奈義町の希望です。

子どもを産み育てやすい環境をつくり、健康で心豊かなたくましい人に育てることは、わたしたち町民みんなの大切な使命であり、この取り組みをいっそう推進し、奈義町に住めば子育てが安心、奈義町は子育てがしやすいまち、との声が全国に広まることを目指します。

そのため、行政の役割を自覚し奈義町として子育て支援にいっそう力を入れ、「子ども達の元気な声と笑顔が溢れ子育てに喜びを実感できるまち」、「家庭・地域・学校・行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、ここに「奈義町子育て応援宣言」を行います。

平成24年4月1日

岡山県奈義町

平成24年4月1日 奈義町子育て応援宣言を発表

行政



町民

町民へ行政が約束をする

宣言することで

町民へ『安心感』と『心強さ』を



はじめに

少子化対策は子育て世代だけの問題ではない

だからこそ、課題を住民と一緒に考える

住民と一緒に話し合う



子どもが減り、若者や子育て世代が減少してしまうと、今ある商店やスーパー、病院、交通機関など、生活に必要な施設や機能、サービスを維持することは難しくなります。少子化による人口減少は、この町を70年、80年守り育ててくれた『高齢者』の安全・安心な生活にもつながる課題です。

少子化による人口減少は、この町に住む全ての人に関係する最大の課題といえます。

だからこそ、住民のみなんで町の未来を考える。子どもから若者、高齢者まで住みやすい町をみんなで創るために。

少子化対策は最大の高齢者福祉



奈義町子育て支援 年表 ~History~

年月日	出来事
2002 平成14年12月1日	合併についての意思を問う住民投票（12/6議会臨時会で決定）
2004 平成16年4月1日～	乳幼児及び児童生徒医療給付事業の拡充開始(H19,H20,H23,H24に拡充)
平成16年4月1日～	出産祝金交付事業開始（H21,H28,R2に拡充縮小）
2006 平成18年4月1日～	不妊治療助成事業開始（H22,H26に拡充）
2007 平成19年4月1日～	高等学校等就学支援金交付事業開始（H24,H26,H28,R2,R5に拡充）
平成19年4月1日～	なぎチャイルドホーム開設
2012 平成24年4月1日	子育て応援宣言
平成24年4月1日～	不育治療助成事業開始
2014 平成26年4月1日～	奨学育英金開始（R2に拡充,R5に制度改良）
2016 平成28年4月1日～	在宅育児支援金交付事業開始（R2に拡充）
2017 平成29年4月1日～	しごとコンビニ事業開始
2020 令和02年4月1日～	子育て家庭食育支援事業開始
2022 令和04年4月1日～	子育て家庭学校教育等支援事業開始



経済的支援の主な例

町民の気持ちに寄り添った経済支援



保育料が国基準の

約半額

さらに第2子はその半額

第3子以降は無料

小中学校の給食費の

半額を

町で負担

小中学校の教育

教材費無料



高校生までの

医療費無料

大学生に町独自の
奨学育英金

卒業後に町への定住で

全額返済免除



特定不妊治療を
受けた方に県の助成を
引いた額の1/2以内で
年額20万円を助成

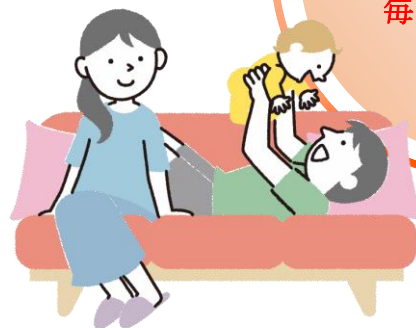


在宅育児をする
保護者に
毎月15,000円の
支援金

高校生への
就学支援として
**年額240,000円の
支援金**



おたふくかぜや
インフルエンザなどの
予防接種も助成



中学3年生までの
子どもを育てる
ひとり親に
年額5万4千円を支給
第2子以降は
1人2万7千円加算



なぎチャイルドホーム



[子育ての心の支え] なぎチャイルドホームとは？

子育て世代が気軽に通える施設として開放しています。常駐する「子育てアドバイザー」に育児に関する相談にのってもらったり、子どもの社会的経験の場となるような活動を行ったりしています。そのほか、地域住民による子どもの一時的な預かりや、親子向けのイベントなども行っています。



「子育ての相談がしたい」「地域の方と交流したい」「子ども同士で遊ばせたい」など、ふらっと立ち寄れる心地よい場所です！

子育てアドバイザーの貝原さん（左から2番目）と、スタッフの方々

ちょっと子どもを預けたい時の 一時保育「すまいる」

「病院に行く間、下の子を預かってほしい」「買い物に行く間だけ子どもを見てほしい」など、一時的に子どもを預かってほしい時に、子育て援助会員に依頼できる制度です。『なぎチャイルドホーム』以外に、援助会員の自宅で預かってもらうこともできます。



『なぎチャイルドホーム』
子どもを預かる会員

週4で通え、親同士で協力する 保育活動「自主保育たけの子」

幼児期の子どもたちに「家庭的な雰囲気の中で育ててほしい」という願いから始まった自主的な保育活動です。保護者と保育士が、毎週火～金曜に当番制で子どもたちの面倒をみながら、遊びや活動を行います。子どもだけでなく、親同士の交流の場にもなっています。



親子で協力して
作った昼食を
楽しむ様子

各種イベントや 座談会も！



助産師や心理士などの講師を招いた座談会や、赤ちゃんを連れて参加できるリトミックなどのイベントを定期的で開催しています。

町民同士で 支えあう 子育てサポート制度



しごとコンビニ事業



- 子育てしながら空いた時間に**ちょっとだけ**働きたい！
子連れでも働きたい！
- 自分の自由な時間を使って**ちょっとだけ**、みんなと一緒に仕事をしたい！



- 常勤で雇用するほどではないけど、繁忙期に**ちょっとだけ**手伝って欲しい！
- 草刈りや片づけなど、困ったときに**ちょっとだけ**手助けして欲しい！



「しごとコンビニ」事業

目的

- ① 子育てしながらでも、就労できる仕組みや環境を整備する。
- ② シニア世代など、“時間に余裕のある人”“社会の役に立ちたいと考える人”らが、少しでも働くことができるようにする。
- ③ 一つの仕事を、みんなで“ワークシェア”することで、より多くの人が地域や社会に関われるような、“総活躍のまち”をつくる。
- ④ 町の中に今ある仕事や、新しい仕事の“受け皿づくり”をすることで、新たな産業の創出や、働きやすい職場環境を作っていく。
- ⑤ 仕事を任せる側（事業主など）の、業務の効率化を図る。

対象

子育て中の母親、なごチャイルドホームの利用者、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者、シニア世代など

実施主体

一般社団法人しごとえん（町民主体で法人化）

事業のしくみ



仕事の例



封かん・発送



PC入力



軽作業



整理・片付け



清掃



電話応対



梱包



農作業



案内



学習指導



賃貸住宅の整備

住む場所の提供：賃貸住宅（満室）

区 分	若者住宅（40歳以下又は中学生までの子育て世帯を対象）			定住促進住宅	合 計
	ユースメゾン奈義	パークサイド奈義	グリーンビレッジ奈義	センタービレッジ奈義	
入居開始	平成23年6月	平成26年3月	平成27年3月	平成27年3月	—
戸 数	4戸	5戸	12戸	60戸	81戸
住宅形態	集合	戸建	戸建	集合	—
居室の状況	2LDK×2 3LDK×2	3LDK×4	3LDK×4	3DK	—
月額家賃	2LDK：45,000円 3LDK：50,000円	50,000円	50,000円	1～2階：30,000円 3階：25,000円 4～5階：22,000円	—

ユースメゾン奈義



平成23年完成：若者住宅（集合住宅4戸）

パークサイド奈義



平成25年度完成：若者住宅（戸建5戸）

センタービレッジ奈義



平成27年1月取得⇒定住促進住宅（60戸）

賃貸住宅不足を解消するため、
町で「民間賃貸住宅の建設」を助成。

- 戸建て賃貸住宅：100万円／戸を助成
- 集合賃貸住宅：50万円／戸を助成
- 空家リノベーションによる賃貸：100万円／戸を助成



住む場所の提供：分譲地整備

	西谷団地	金剛田団地	西ノ谷団地	御崎野団地	つくし団地	豊沢中央団地	合計
分譲開始	H3.10.11	H7.7.3	H9.11.4	H12.3.1	H14.9.2	H23.7.11	—
分譲完了	H3.11	H8.7	H31.3	R4.3	H26.1	H25.11	—
分譲区画数	5	11	9	37	16	9	87
分譲済み	5	11	9	37	16	9	87
残区画	0	0	0	0	0	0	0
分譲率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



金剛田団地



御崎野団地



つくし団地

分譲宅地不足を解消するため、
町で「民間分譲宅地の整備」を助成。

- 1区画当たり50坪以上
- 補助対象は、造成工事費（上下水道整備費含む）
- 補助上限額 1区画当たり100万円

- ・ 分譲地紹介報奨制度（30万円）
- ・ 新築住宅普及促進事業補助金（町内新築 20万円、地元業者施工 30万円、家族加算 50万円（上限） 計100万円）



多世代共生型 ナギフトカード

【機能】

- ①ナギフトポイント **2018年4月スタート**
⇒行政ポイント全56メニュー+買い物ポイント
・・・貯まったポイントは1ポイント1円で利用できる！
- ②ナギフト支援券 **2018年6月スタート**
⇒地域プレミアム商品券の電子版（地域活性化支援券）
※令和4年度は、1万円で1.3万円が利用できる！
- ③ナギフトマネー **2021年1月スタート**
⇒自分のお金を加盟店でチャージして使える電子マネー
- ④給付金 **2021年4月スタート**
⇒長引くコロナ禍の家計への経済支援と、地域経済の活性化を図るため、ナギフトカードを通じて給付金を交付。

【スマホ連携】

- ★スマホ等で利用できる奈義町公式アプリの機能により、ナギフトカードと連携
⇒ポイントや電子マネーの残額・利用や付与歴が確認できる他、スマホでQRコードを表示することに、スマホ決済も可能！



※町民外カードも発行中

町民
カード

ICチップ入り
電子カード
(全町民所持)



子育てメニューも



高い合計特殊出生率の鍵は 「安心感」

住むところがあって安心

(若者住宅、定住促進住宅、安価な分譲地など)

働くことができ安心

(工業団地や起業支援、しごとコンビニ、シェアオフィスなど)

子育ての負担が軽くなって安心

(出生から大学卒業まで切れ目のない経済的支援)

子育ての悩みや喜びが共有できて安心

(チャイルドホームが核となり多様な地域の人に関わる仕組み)

町のみんなが子育てを応援してくれて安心

(一時預り、自主保育、登下校の見守り、学校支援ボランティアなど)





ご視聴ありがとうございました。



